

近畿大学附属農場（湯浅農場・生石農場）案内



湯浅農場

200種類以上のかんきつ類を栽培。恵まれた気候の中での実学研究。

湯浅農場は、紀伊半島西部海岸の中央部にある“有田みかん”の本場、さらに醤油発祥の地として全国的に有名な和歌山県有田郡湯浅町に立地しています。マンゴーなど熱帯果樹類の栽培研究や、かんきつ類の系統保存を行なうとともに、機能性を見出す薬用利用の研究などに取り組んでおり、研究者や農業従事者からも注目を集めています。また、学生実習や卒業研究の場としても利用されています。



生石農場

標高約800 mの豊かな自然。ブランド商標を実現化する畜産農場。

生石農場は、紀伊半島のやや中央部に位置する和歌山県有田郡有田川町の高地部（標高約800 m）に立地しています。アイガモの育成研究に注力し、その成果を「近大おいし鴨」というブランド名で、世に出しています。また、2021年からは有田川町のふるさと納税の返礼品として使用されています。近年では冷涼な気候を活かした野菜などの栽培研究にも取り組み、2021年からはソバの栽培に着手しています。



①



②



①湯浅農場新本館（2022年1月竣工）
②マンゴー（愛紅）

③



④



③ミカンほ場
④学生実習

⑤



⑥



⑤生石農場学生研修棟
⑥ビーツ

⑦



⑧



⑦近大おいし鴨
⑧ソバ

近畿大学附属農場（湯浅農場）

主要作物

かんきつ類



ウンシュウミカン



柑橘遺伝資源保存園



無添加みかんジュース「100%近大です。」

わせ
早生品種「宮川早生」と普通品種「林温州」のウンシュウミカンを栽培し、「近大みかん」のブランドで出荷しています。無添加みかんジュース「100%近大です。」などの加工品にも使用しています。また、ウンシュウミカン以外に約200品種のかんきつ類を柑橘遺伝資源保存園（2015年1月に開園）に系統保存しています。

マンゴー



あいこう
愛紅



アーウィン



様々な品種のマンゴー

1987年からミカンにかわる新しい作物としてマンゴーの試験栽培を開始しました。主に京阪神の百貨店で販売をしており、「近大マンゴー」の名称で親しまれています。

オリジナル品種「愛紅」

2008年に品種登録された日本初のマンゴーです。研究事業の成功事例として、世間に広く知っていただくため2012年から東京へ出荷し、好評をいただいています。

コメ



キヌヒカリ



コメ4品種



きんだいさけ
近大酒

約160 aの水田で和歌山県の奨励品種である「キヌヒカリ」や「きぬむすめ」を栽培し、2018年からは化学合成農薬・化学肥料を通常の半分以下で栽培する特別栽培米の生産に取り組んでいます。

「近大酒」

2020年から酒米「山田錦」の栽培を開始し、地元の酒蔵高垣酒造株式会社と共同で「近大酒」を製造しています。

ウメ



なんこううめ
南高梅



梅花



梅干し

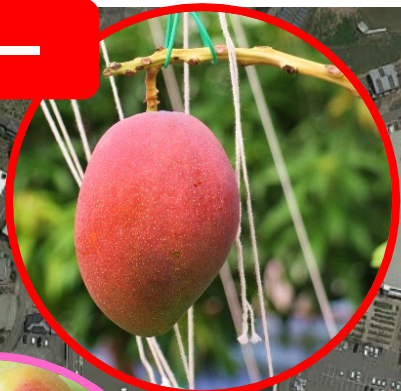
南高梅の収穫量は約1トンで、6月頃、青梅として出荷しています。学生実習や体験型見学では、梅シロップの作製体験なども実施しています。完熟したウメは学生実習で“梅干し”などに加工しています。

また、梅の花は近畿大学の学園花でもあり、学園章のモチーフにもなっています。



近畿大学附属農場（湯浅農場）主要作物の栽培MAP

マンゴー



新本館

ウメ



酒米



かんきつ類



うるち米



栽培カレンダー

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
柑橘 (ミカン) ※1	成長		花芽分化期		春芽発芽・ 出蕾期	開花期 (満開は 5月中旬)	果実肥大期		夏芽 発芽期		秋芽 発芽期	果実 着色期	果実 成熟期
	作業		せん定		施肥	摘蕾		粗摘果		仕上げ摘果		施肥	収穫・出荷
マンゴー ※2	成長		花芽分化期		開花期 (満開は 4月中～下旬)		果実肥大期		果実成熟期				花芽 分化期
	作業	加温					施肥	花吊り	花弁落し	摘果・果実吊り	収穫・出荷 (収穫最盛期は 8月下旬)	せん定	施肥
水稻 ※3	成長					育苗期		分けつ期	出穂・ 開花期	成熟期			
	作業	荒起こし			荒起こし	播種・苗作り	田植え	土用干し		収穫・乾燥 粃すり			
ウメ ※4	成長		開花期 (満開は 2月下旬)		発芽期	果実肥大期	果実 成熟期	花芽 分化期					落葉期 休眠期
	作業	せん定			施肥		青梅 収穫	梅干し用梅 収穫・塩漬け	天日干し			施肥	



※1. 3月から11月にかけて適宜、薬剤散布を実施。

※2. 適宜、灌水（1週間に1回）を実施。薬剤散布については、開花前から7月上旬まで月に1回程度実施。

※3. 田植え、土用干し後、8月末頃に薬剤散布を実施。お米は農学部祭等で販売。

※4. 6月から7月上旬まで収穫した完熟ウメは塩漬けし、夏季の農場実習（本学農学部生）で天日干しを行い、“梅干し”（田舎漬け）として出荷。

SNSで
情報発信中！

Instagram



X



@Kindai_noujo



附属農場案内！詳しくはHPで解説していますので、こちらも是非ご覧ください。
近畿大学附属農場HPアドレス⇒<https://www.kindai.ac.jp/farm/>



メ モ